

衛研第2-17号
平成29年 7月26日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 平成29年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 29 週（平成 29 年 7 月 17 日～平成 29 年 7 月 23 日）

今週の注目される疾患 図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 4 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 6 人の届出があり、多い状況が続いている。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、梅毒 5 人の届出があった。

定点把握対象疾患の夏型疾患では、手足口病(5.42 6.79：図 1)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、朝霞(12.67)、川越市(9.88)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳からの報告が最も多く、1～3 歳で全報告数の 66.8%を占めている。ヘルパンギーナ(1.66 1.61：図 2)の定点当たり報告数は前週と同水準であった。保健所別では、春日部(1.67 3.50)保健所管内で大きく増加し、熊谷(3.33)、朝霞(3.00)保健所管内からの報告が多い。咽頭結膜熱(1.27 1.18：図 3)の定点当たり報告数は前週と同水準であり、6 月以降定点当たり報告数は 1.00 を上回り多い状況が続いている。他の小児疾患では、RS ウイルス感染症(0.51 1.04：図 4)の定点当たり報告数は前週より大きく増加し、過去 4 年の同時期よりかなり多い。保健所別では、鴻巣(0.50 2.58)、草加(0.45 2.33)保健所管内で大きく増加し、川口(2.29)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎 4 人、流行性角結膜炎 37 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 4 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4 人（類型 患者 4 人 血清型 O157 1 人、O26 2 人、O121 1 人）
四類感染症	レジオネラ症	6 人（病型 肺炎型 6 人）
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	後天性免疫不全症候群	2 人（病型 無症状病原体保有者 2 人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	梅毒	5 人（病型 早期顕症 期 5 人）

～平成 29 年度インフルエンザ HA ワクチン製造株の決定について～

インフルエンザワクチン製造株について、厚生労働省から下記のとおり決定した旨の通知がありました。

A 型株 A/シンガポール/GP1908/2015(IVR-180)(H1N1)pdm09

A/香港/4801/2014(X-263)(H3N2)

B 型株 B/プーケット/3073/2013(山形系統)、B/テキサス/2/2013(ビクトリア系統)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 手足口病

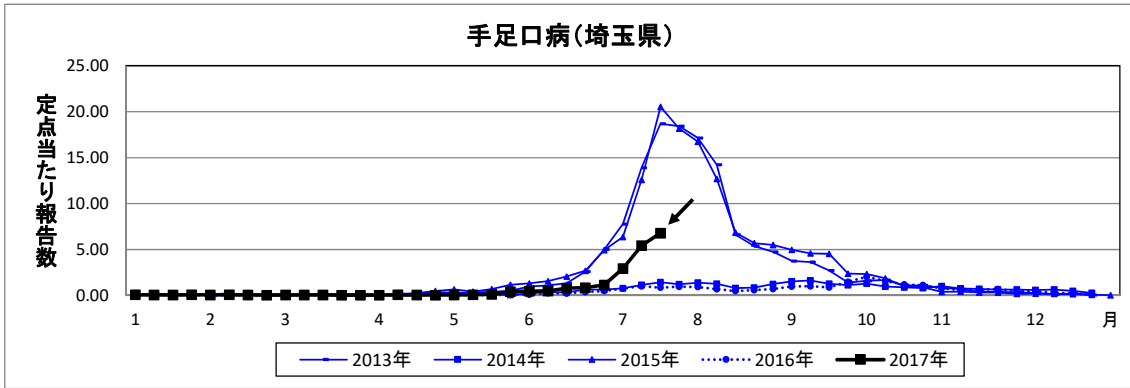


図2 ヘルパンギーナ

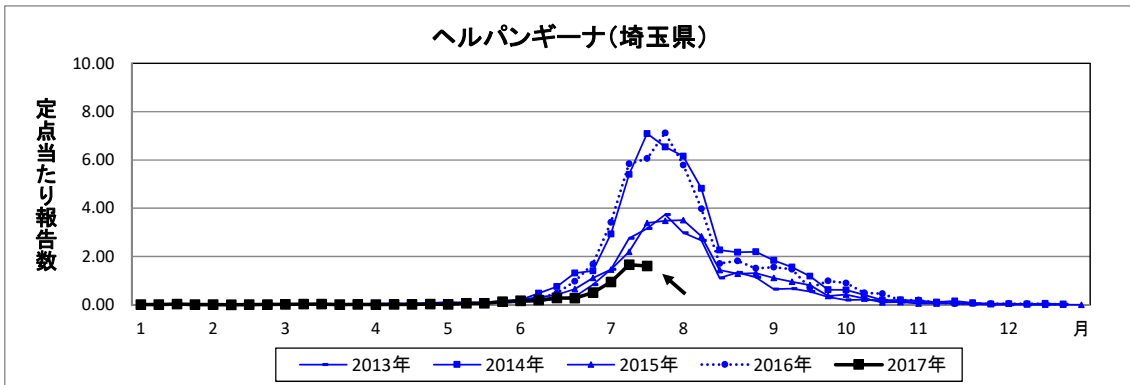


図3 咽頭結膜熱

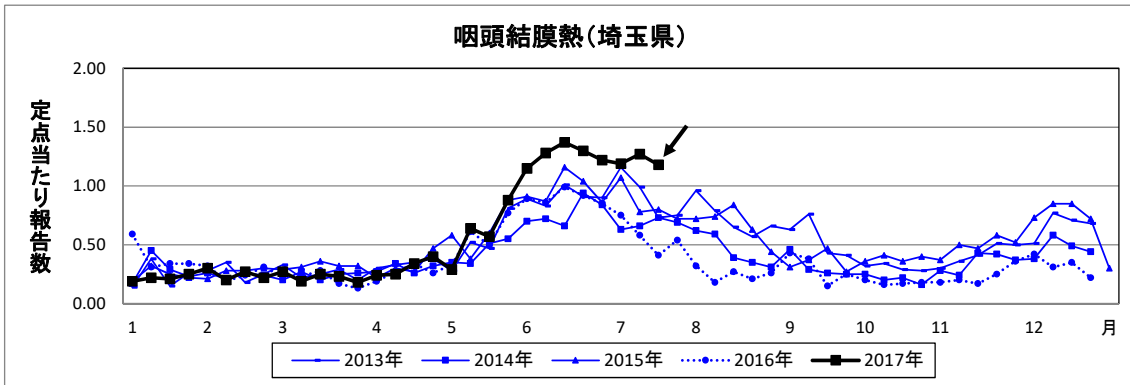
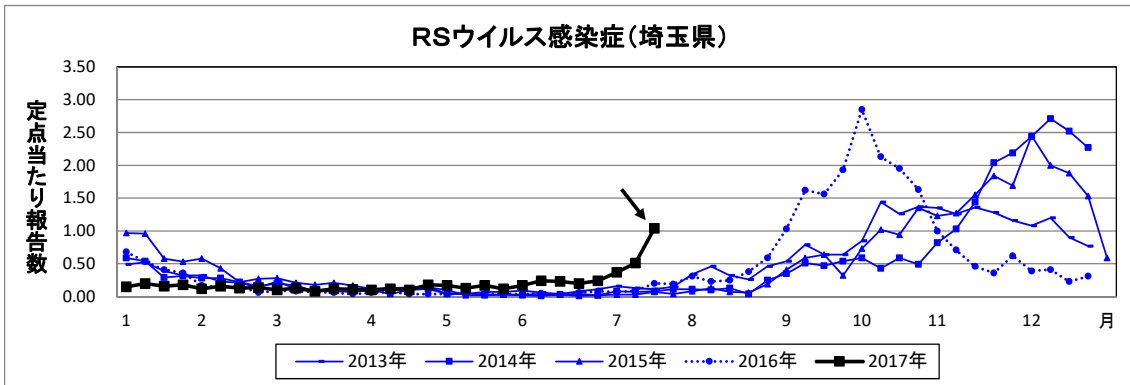


図4 RSウイルス感染症



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第29週)

(2017年7月25日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	61			
四類感染症					
E型肝炎		10	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		11	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	6	44
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		8	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		29	侵襲性肺炎球菌感染症	2	84
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	31	先天性風しん症候群		
急性脳炎		27	梅毒	5	116
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		12	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		11	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	2		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数 保健所別 (第29週)										平成29年7月17日～平成29年7月23日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)									
全	10	169	192	340	718	68	1,107	27	112	-	262	51	4	37	-	-	-	4	-	-	-									
川	0.04	1.04	1.18	2.09	4.40	0.42	6.79	0.17	0.69	-	1.61	0.31	0.10	0.93	-	-	-	0.40	-	-	-									
朝	-	39	31	63	120	5	127	1	15	-	22	5	-	10	*	*	*	*	*	*	*									
朝	-	2.29	1.82	3.71	7.06	0.29	7.47	0.06	0.88	-	1.29	0.29	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*									
朝	-	14	22	34	84	7	190	5	14	-	45	6	-	9	-	-	-	-	-	-										
朝	-	0.93	1.47	2.27	5.60	0.47	12.67	0.33	0.93	-	3.00	0.40	-	2.25	-	-	-	-	-	-										
朝	-	31	7	23	43	5	62	2	3	-	18	4	1	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	2.58	0.58	1.92	3.58	0.42	5.17	0.17	0.25	-	1.50	0.33	0.33	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	-	7	12	10	-	35	1	3	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-										
朝	-	-	1.40	2.40	2.00	-	7.00	0.20	0.60	-	-	0.40	-	1.00	-	-	-	2.00	-	-										
朝	1	-	1	-	10	-	11	1	-	-	3	-	*	-	-	-	-	-	-	-										
朝	0.20	-	0.33	-	3.33	-	3.67	0.33	-	-	1.00	-	*	-	-	-	-	-	-	-										
朝	-	4	2	2	-	1	34	7	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
朝	-	1.00	0.50	0.50	-	0.25	8.50	1.75	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
朝	-	12	3	23	76	4	74	4	13	-	30	4	1	2	-	-	-	-	-	-										
朝	-	1.33	0.33	2.56	8.44	0.44	8.22	0.44	1.44	-	3.33	0.44	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-										
朝	-	1	4	3	-	8	30	-	3	-	6	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	0.17	0.67	0.50	-	1.33	5.00	-	0.50	-	1.00	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	-	6	17	25	5	28	-	7	-	21	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	-	1.00	2.83	4.17	0.83	4.67	-	1.17	-	3.50	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	3	10	7	14	21	10	80	-	5	-	18	6	-	1	-	-	-	-	-	-										
朝	0.21	1.11	0.78	1.56	2.33	1.11	8.89	-	0.56	-	2.00	0.67	-	0.50	-	-	-	-	-	-										
朝	3	2	11	9	49	1	52	-	2	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-										
朝	0.30	0.33	1.83	1.50	8.17	0.17	8.67	-	0.33	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-										
朝	-	28	13	16	48	-	50	2	4	-	19	1	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	2.33	1.08	1.33	4.00	-	4.17	0.17	0.33	-	1.58	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	1	7	27	28	64	4	118	4	12	-	26	3	2	7	-	-	-	-	-	-										
朝	0.04	0.44	1.69	1.75	4.00	0.25	7.38	0.25	0.75	-	1.63	0.19	0.40	1.40	-	-	-	-	-	-										
朝	1	1	2	19	18	2	79	-	5	-	12	2	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	0.08	0.13	0.25	2.38	2.25	0.25	9.88	-	0.63	-	1.50	0.25	-	-	*	*	*	*	*	*										
朝	-	9	16	12	14	1	56	-	3	-	6	3	-	1	-	-	-	2	-	-										
朝	-	1.13	2.00	1.50	1.75	0.13	7.00	-	0.38	-	0.75	0.38	-	0.50	-	-	-	2.00	-	-										
朝	1	11	33	65	136	15	81	-	19	-	32	9	-	6	-	-	-	-	-	-										
朝	0.02	0.41	1.22	2.41	5.04	0.56	3.00	-	0.70	-	1.19	0.33	-	0.75	-	-	-	-	-	-										

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 7月 25日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第29週 平成29年7月17日～平成29年7月23日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	10	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	-	-
RSウイルス感染症	169	24	40	60	27	11	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	192	3	3	32	25	36	23	30	16	11	7	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	340	-	1	18	25	37	43	34	56	44	28	14	27	-	13	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	718	4	70	119	79	81	73	56	38	24	17	23	56	11	67	-	-	-	-	-	-
水痘	68	1	2	8	4	4	6	11	10	8	7	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	1,107	9	99	368	219	152	107	77	30	13	9	10	7	-	7	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	27	-	1	2	1	6	5	3	3	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	112	2	35	60	11	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	262	1	18	81	51	34	32	23	10	5	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	51	-	-	4	2	3	7	11	4	4	6	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
流行性角結膜炎	37	-	2	1	2	2	1	4	2	1	-	-	1	3	12	2	2	2	2	-	-
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 27週

(7月3日～7月9日)

平成29年7月26日

インフルエンザの定点当たり報告数は第17週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.79)、鹿児島県(0.54)、熊本県(0.30)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は17例と前週と比較して増加し、8府県から報告があった。

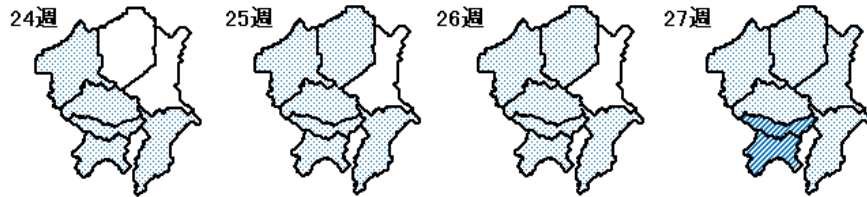
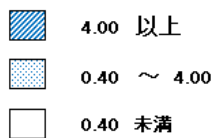
RSウイルス感染症の報告数は1,179例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.77)、鹿児島県(2.22)、宮城県(1.56)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.70)、福岡県(4.33)、鳥取県(4.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(10.08)、香川県(8.61)、熊本県(8.06)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.74)、滋賀県(0.63)、和歌山県(0.63)、宮崎県(0.61)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は高知県(19.10)、鳥取県(14.84)、滋賀県(13.66)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第24週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(1.73)、愛媛県(0.27)、静岡県(0.24)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長野県(1.83)、鹿児島県(1.78)、新潟県(1.63)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(1.17)、秋田県(1.13)、沖縄県(0.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。15道府県から32例報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～4歳(21例)、5～9歳(3例)であった。

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、神奈川県(4.20)、東京都(4.18)からの報告が多い。

手足口病



平成29年 27週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 902 定点当たり 0.18	102 0.07	4 0.03	1 0.01	3 0.03	18 0.07	11 0.05	45 0.11	20 0.06
RSウイルス感染症	報告数 1,179 定点当たり 0.37	351 0.37	19 0.25	3 0.06	5 0.09	60 0.37	23 0.17	116 0.44	125 0.58
咽頭結膜熱	報告数 2,925 定点当たり 0.93	967 1.01	66 0.88	47 0.98	24 0.41	192 1.19	188 1.39	255 0.98	195 0.90
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 8,467 定点当たり 2.68	3,052 3.20	226 3.01	65 1.35	207 3.57	614 3.79	495 3.67	768 2.94	677 3.13
感染性胃腸炎	報告数 16,614 定点当たり 5.26	4,909 5.14	317 4.23	104 2.17	275 4.74	1,015 6.27	604 4.47	1,404 5.38	1,190 5.51
水痘	報告数 1,249 定点当たり 0.40	395 0.41	37 0.49	15 0.31	22 0.38	74 0.46	44 0.33	108 0.41	95 0.44
手足口病	報告数 18,151 定点当たり 5.74	3,034 3.18	42 0.56	48 1.00	101 1.74	478 2.95	367 2.72	1,090 4.18	908 4.20
伝染性紅斑	報告数 373 定点当たり 0.12	124 0.13	5 0.07	4 0.08	9 0.16	35 0.22	7 0.05	33 0.13	31 0.14
突発性発しん	報告数 1,808 定点当たり 0.57	593 0.62	24 0.32	36 0.75	44 0.76	108 0.67	76 0.56	168 0.64	137 0.63
百日咳	報告数 38 定点当たり 0.01	7 0.01	1 0.01	-	-	-	1 0.01	4 0.02	1 0.00
ヘルパンギーナ	報告数 4,754 定点当たり 1.50	1,073 1.12	32 0.43	14 0.29	58 1.00	152 0.94	233 1.73	314 1.20	270 1.25
流行性耳下腺炎	報告数 1,654 定点当たり 0.52	391 0.41	17 0.23	14 0.29	61 1.05	60 0.37	45 0.33	91 0.35	103 0.48
急性出血性結膜炎	報告数 15 定点当たり 0.02	4 0.02	-	-	-	1 0.03	-	-	3 0.06
流行性角結膜炎	報告数 572 定点当たり 0.82	237 1.15	23 1.35	15 1.25	7 0.50	39 0.98	34 0.97	30 0.77	89 1.82
細菌性髄膜炎 #2	報告数 9 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	-	-	2 0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数 23 定点当たり 0.05	2 0.02	-	-	-	-	1 0.11	-	1 0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数 118 定点当たり 0.25	22 0.27	1 0.08	3 0.43	5 0.63	2 0.20	3 0.33	6 0.24	2 0.22
クラミジア肺炎 #3	報告数 4 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 32 定点当たり 0.07	1 0.01	-	-	1 0.13	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査 2017年

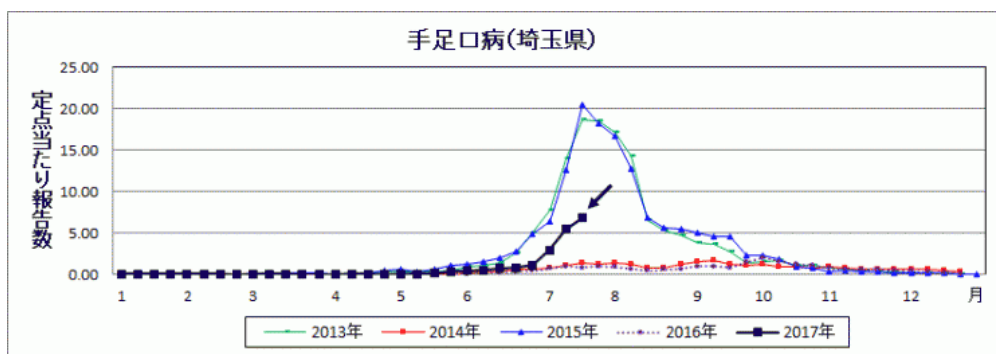
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)

感染症の流行状況 2017年 第29週

2017年第29週（平成29年7月17日～7月23日）の要点 平成29年7月26日

手足口病の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★★
感染性胃腸炎	↓	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★
水痘(みずぼうそう)	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン